

令和3年度 後期学校自己評価のお知らせ

保護者・地域の皆様へ

これは、後期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」、そして、「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。

これらの評価の結果を踏まえて、学校改善に向けた後期及び次年度の教育活動を進めていきます。

今後も、本校の教育活動に対して御理解いただきますと共に、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

糸島市立東風小学校

校長 重富 泰敏



糸島市立東風小学校

児童・教師評価の結果と考察(前期)

【評価方法】 4段階 [4:よくできている 3:ほぼできている 2:やや不十分 1:できていない]
(4:80%以上 3:60~79% 2:40~59% 1:39%以下)

重点目標における子どもの姿の評価の概要

【本年度の重点目標】

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

- 基礎的・基本的な学習内容や体力を身につけた子ども
- 自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども
- 学習の構えや習慣を身につけた子ども

重点目標における子どもの姿

【学校満足度】 上段→前期 下段→後期			
質 問 項 目		児 童	
1 学校生活を楽しく過ごしている。		3.56	
		3.58	
【ぐんぐん育つ】意欲を持って学び、自分で考える子ども			
質 問 項 目		児 童	教 師
2 学習する構えができている（学習準備と姿勢等）		3.35	2.85
		3.30	2.97
3 話している人の方を向いて、目と心で聞いている。		3.38	2.61
		3.38	2.85
4 じっくり考えて、自分の考えを書くことができている。		3.46	2.79
		3.48	3.03
5 自分から進んで考えたことを発表・交流している。		3.20	2.70
		3.09	2.97
6 英語の学習の時、楽しくきいたり話したりしている。		3.54	
		3.48	3.45
7 タブレットを使って、進んで学習することができている。		3.70	
		3.64	3.56
8 宿題を毎日、決められた時間にきちんとしている。		3.33	3.13
		3.33	3.20
この観点の平均		3.42	2.82
		3.39	3.15
【にこにこ育つ】正しいこと、優しいことを進んでできる子ども			
質 問 項 目		児 童	教 師
9 誰にも自分から進んで大きな声で、あいさつをしている。		3.27	2.52
		3.38	2.76
10 やさしい言葉で友だちに話している。（チクチク言葉は使っていない。）		3.46	2.85
		3.45	3.03
11 東風小のきまりを守ることができている。		3.60	3.06
		3.52	3.03
12 困っている友だちや下級生にやさしくすることができている。		3.45	3.06
		3.46	3.27
13 自分のことが好きである（自分のことを良く思っている）		3.16	2.85
		3.08	2.88
この観点の平均		3.39	2.87
		3.38	2.99
【すくすく育つ】健康・安全に気をつけ、身体を鍛え、やりぬく子ども			
質 問 項 目		児 童	教 師
14 友だちとさそいあって、外で元気に遊んでいる。		3.54	3.18
		3.55	3.15
15 自分の係や当番の仕事を最後までがんばっている。		3.69	3.22
		3.68	3.19
16 進んで、黙々と時間一杯そうじをしている。		3.51	2.76
		3.48	2.82
17 自分の物は、自分できちんと管理している（くつ、かさ、机の中、棚等）。		3.61	2.88
		3.54	2.7
18 規則正しい生活ができている（早寝・早起き・朝ご飯）。		3.39	2.88
		3.36	2.94
この観点の平均		3.55	2.98
		3.52	2.96

重点目標における子どもの姿の評価の考察

〈全体〉

- ・ 後期も新型コロナウイルス感染防止対策の中、子どもたちは感染防止に努めながら、状況に応じて、その時々でできることを最大限に取り組み、学校生活を送ることができました。
- ・ 教師の評価は、全体的にポイントが上昇している項目が増えている傾向にあります。子どもたちは、少し下がっている傾向にありました。教師は前期の課題を受け、取組の重点について共通理解をより図りながら実践してきた結果だと言えます。子どもたちの数値の減少が著しい項目については、その要因を捉え、改善を図ると共に、家庭や地域との連携をさらに行的ながら改善に努めていきます。また、子どもたちの最大限に力を発揮して取り組む姿を「励まして・ほめて・認めていく」ことで、子どもたちの満足感・達成感をさらに感じられるような教育活動を進めていきます。

〈学校満足度〉

- ・ 「学校生活を楽しく過ごしている。」の質問項目は、前期よりもさらにポイントが上がっていました。大変嬉しいことです。感染対策をとりながら、子ども同士の関わりを増やし、学校という小さな社会の中で様々な経験を行い、それらを満足に感じている児童が多いことが伺えます。後期後半及び次年度も子どもたちの心身の健康や安全の保持に努め、「わかる、楽しい授業づくり」「認め合い、共に支え合う集団づくり」を全職員で取り組みながら、学びの中で自分のよさを発揮し、仲間と育つ子どもの育成に向け、全職員で教育活動を進めていきます。また、個々の不安や困り感について家庭等と連携を図りながら早期に捉えることに努め、家庭等と相談しながら、安心して学校生活を送られるようにします。お子様のことで、何か心配なことがありましたら、連絡をお願いします。

〈ぐんぐん育つ〉

- ・ 項目4の「じっくり考えて、自分の考えを書く」については、児童も教師も前期に比べ評価数値が上昇しました。学習中は、自分の考えを書いたり、書くことによって再考したりする学びができてきました。後期後半及び次年度も「じっくり考え、自分の考えを書く」ための支援を行うことを継続し、さらに、書いたことを友達に進んで広める授業づくりを工夫することで、項目5の児童評価の上昇に繋げていくようにします。
- ・ 項目2の「学習する構えができていく」については、子どもの評価が前期よりも0.05ポイント下がっていました。学習用具等が揃い、机上の整理や学びの姿勢を心がけられるよう、週初めに定期的に声かけを行うなどしながら意識を高揚させていきたいと考えます。学習用具を揃える（もの構え）、学びの姿勢（身構え）、学習に向かう気持ち（心構え）をすることの大切さを継続して伝えていきます。御家庭でも、学習用具を揃えること、早寝・早起き・朝ご飯などの生活リズムを整えることに、今後も御協力をよろしくお願い致します。

〈にこにこ育つ〉

- ・ 項目9の「自分から進んで大きな声であいさつ」については、児童・教師共に前期よりも評価数値が上昇しました。校内では、前期後半に児童会総務が中心となり、挨拶運動を行ったり、挨拶標語の取組を行ったりして、学校全体で挨拶する心地よさが広められていったことが起因していると言えます。児童会総務という子どもたち主体で全校一斉に取り組むことのよさを改めて実感した次第です。今後は、地域においても挨拶ができる子どもを目指して、校内での取組を継続・充実させていきたいと考えます。
- ・ 項目11「きまりを守る」については、若干ではありますが、児童・教師共に前期よりも評価が下がりました。しかし、他の項目に比べれば高い数値を示しています。後期後半及び次年度も、集団生活をする中で様々なきまりを守る意義を適宜子どもたちと考え、安全・安心な学校づくりに努めていきます。
- ・ 項目13「自分のことが好きである」については、児童の評価が0.08ポイント下がりました。本校では、学年が上昇するにつれ、自己肯定感が低下する傾向にあります。自己のよさが発揮され、それらが他者の役に立ったり他者に認められたりすることで、そのよさについて自信を高めることができ、自己肯定感の高揚につながるものと考えます。学習や学校、学年行事などにおいて、その取組過程を大事にし、個々の伸びを「ほめて・認める」ことを大事にした教育活動を行っていきます。

〈すくすく育つ〉

- ・ 「すくすく育つ」の項目では、児童の評価数値が少し下がっていますが、本観点の平均値は他の観点の平均値よりも高い数値となっています。健康・安全に気を付けながら過ごすことができる児童が多いことがわかります。大変嬉しいことです。
- ・ 項目17の「自分の物の管理」については、児童・教師共に評価ポイントが下がっています。この点については、数値を上げたいところです。校内における落とし物が増えている状況にあります。学校では、引き出しの整理など自分の保管場所を整理整頓する習慣づくりを意図的に行っています。御家庭でも、持ち物には名前を書き、持ち物を大事にできるよう声かけをお願いします。
- ・ 問18の「規則正しい生活」については、児童の評価数値を上げたいところです。この項目は他の観点を含む全ての項目の基盤となると言っても過言ではありません。規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）は、心の安定や健康保持増進、学習中の態度等により影響を及ぼします。御協力をお願いします。

保護者評価(アンケート)の結果について

- 1 実施期間 令和3年12月1日(水)～12月14日(火)
- 2 調査対象者数 621
- 3 回答数 457 (回収率 73.6%)

: 4 評価
 : 3 評価
 : 2 評価
 : 1 評価

項 目	お子様の姿・学校の姿	数値 上段:後期 下段:前期	評 価
I 学校満足度	1 お子様は、学校生活を楽しんでいますか。	後 3.55 前 3.54	
II 家庭での様子から、めざす子ども像の達成度	2 お子様は、ご家庭で自分から進んで学習していますか。	後 3.07 前 3.11	
	3 お子様は、相手の気持ちを考えながら、友だちと仲良く遊んでいますか。	後 3.40 前 3.36	
	4 お子様は、地域や家庭で、気持ちのよい挨拶ができていますか。	後 3.10 前 3.09	
	5 お子様は、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯等）が身についていますか。	後 3.30 前 3.35	
	6 お子様は、家の仕事や学習を、最後まであきらめずにやり通すことができますか。	後 3.21 前 3.20	

I 学校満足度

コロナ禍で生活面や学習面での制約がある中、前期と大きな変化もなく、多くの子どもたちが学校で楽しく過ごすことができていることが嬉しいです。しかし、学校に対する満足度の低い子どもたちについて、不安や困り感を家庭と共有し、寄り添った支援を行っていくことに努めていく必要をさらに感じています。今後も、子どもたちが学校で安全に安心して過ごすことができるように全職員で努力していきます。

II めざす子ども像の達成度

どの項目もある程度は高い数値であると考えます。後期も子どもたちの目標に向かったがんばりが表れていると言えます。しかし、項目2「学ぶ意欲」、項目5「基本的な生活習慣」に関しては、他の項目よりも数値が低い傾向にあります。御家庭との連携・協力を大切にし、さらに高めていきたいと考えています。御家庭でも、心配なことや気になることがありましたら、学校へ御連絡ください。

■ : 4 評価 ■ : 3 評価 ■ : 2 評価 ■ : 1 評価

Ⅲ学校の教育活動の充実度	7	学校は、「わかる・できる・楽しい」授業づくりに取り組んでいますか。	後 3. 38 前 3. 37	207	214	264
	8	学校は、生命尊重や思いやりの心等、豊かな心づくりに努めていますか。	後 3. 43 前 3. 45	226	204	186
	9	学校は、いじめのない安心した学校・学級づくりができていますか。	後 3. 44 前 3. 40	234	186	284
	10	学校は、体育や食に関する指導を通して健康づくりに取り組んでいますか。	後 3. 51 前 3. 48	247	177	135
	11	学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていますか。	後 3. 40 前 3. 35	222	195	287
	12	学校は、学級通信等で、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていますか。	後 3. 49 前 3. 41	262	165	246
	13	学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てていますか。 (コミュニティ・スクール)	後 3. 32 前 3. 32	193	221	366
	14	学校行事(運動会等)は、子どもにとって充実した取組になっていますか。	後 3. 29 前 評価なし	225	154	6215
	15	学校は、新型コロナウイルス感染症防止のための取組は充実していますか。	後 3. 58 前 3. 58	291	142	166

Ⅲ 学校の教育活動の充実度

ここでは、教職員がどのように教育活動を進めているのかについて聞かせていただきました。

後期も前期同様に、全体的に見て、ある程度高く評価して頂いていることに感謝します。後期は前期に比べ、学校、学年行事を感染対策のもと実施することができ、学校の様子を公開する機会をもつことができたことに喜びを感じています。保護者の御理解や御協力が、私たち教職員にとってとても心強く感じております。今後も、コロナウイルス感染状況を見ながら、その時の状況に応じて家庭や地域に学校の教育活動を開いていきたいと考えますので、子どもたちの様子を御覧頂ければ幸いです。

また、項目13の「家庭と地域と協働した子どもの育成（コミュニティ・スクール）」については、今後もコロナ禍だからこそできることを模索しながらできるよう努めていきます。現在、地域における子どもの安全の確保のため、「110番の家」「飛び出し注意」の看板設置について、コミュニティセンターや各行政区の区長さん方、PTA役員の方々の御支援と御協力のもと進めることができています。学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を見守っていくことができるよう、今後も御協力をよろしくお願いします。

保護者アンケート自由記述について

アンケートでは、自由記述欄を設けました。そこには、たくさんの貴重な御意見や御感想をいただきました。紙面の都合上、すべての紹介をすることができませんが、職員と確認し合った内容を報告させていただきます。

成果

お子様や私共教師のがんばりを認めて頂いている感想をいただき、大変嬉しく思います。

○ 子どもが元気に登校していることや、安心・安全の学級づくりについて

- ・ありのままを見守っていただき、ありがとうございます。
- ・いつもいいところを良くみてほめてくださり、嬉しそうに報告してくれるので感謝しています。
- ・帰ってきたら、その日の出来事を話してくれます。子どもたちが安心できる環境をつくっていただいているおかげだと思っています。
- ・子どもの様子から丁寧に向き合ってくださいているのが分かります。

○ 何かあったときの学校の対応への安心感について

- ・友達関係で気になった事があった際、相談したらすぐに対応してくださいました。
- ・子どもの些細な訴えをくみ取り家庭へ連絡していただけるので、学校と家庭が同じ方向で支援ができていないかと感謝しています。
- ・いじめ対策のアンケートでは、迅速に対応いただき助かりました。

○ 新型コロナウイルス感染防止を取組について

- ・コロナで大変な中、体育参観や授業参観など、子どもの様子がわかる取組をありがとうございます。
- ・闇雲に流行のタブレット授業に偏るのではなく、書いて練習をしたり、思考過程をノートに残すような指導をしたりしていただき有り難いと思います。
- ・学校生活を安心して過ごせるよう、コロナウイルスの感染防止対策を引き続きよろしくお願いします。

課題

●豊かな心の育成について

- ・ゲームの時間を決めていても友達の家などでゲームをしているようで、ゲーム時間が長いです。
- ・挨拶をできる子が少ないので学校・家庭・地域で真剣に取り組む必要を感じます。

→ ゲームの時間や遊び方については、学校でも指導を行っているものの、なかなか改善に向かうことができていないのが現状です。冬季休業中前にPTAの「SNS東風ルール」を長子のお子様に配布をしていただきました。これを機に、家庭においてルールづくりやルールの見直しを行っていきたいと考えます。御協力をよろしくお願いいたします。

また、SNS上のトラブルも増えてきています。携帯電話やゲーム機の通信など、お子様がお持ちの機器については、保護者の皆様で管理をいただき、健全な使用ができるようお声かけや見守り等をお願いいたします。

挨拶については、「いつでも、だれでも、何度でも」を合言葉に、学校・家庭・地域が一緒に「進んで挨拶ができる子ども」を育てていくことが大切だと考えています。後期前半は、児童会総務を中心に挨拶を広める取組を行いました。今後も子ども達の挨拶をする姿をほめて、認めて、あいさつを進んでできる子どもを増やしていきたいと考えます。

●コロナ禍における行事の取組について

- ・コロナ禍で学校に行く機会も減り、先生との交流も難しく、子どものことで知りたいことはたくさんあるのですがなかなか知ることができないのが残念です。
- ・コロナウイルス感染防止をして行事などをしていただくことも増えてよかったと思っています。その都度工夫をして実施していただいているのですが、体育参観は久しぶりの子ども達の活躍を見ることができた機会だったので、競技学年のアナウンスを入れたり、最後まで保護者に姿が見えるような退場の仕方などを工夫したりしていただけるとよかったです。

→ 御意見ありがとうございます。授業参観、体育参観、引渡訓練、学年行事（修学旅行、自然体験教室）等の学校、学年行事を感染防止対策に努めながら実施できたことを、職員一同嬉しく思っています。

しかし、今年度も、学習参観後の懇談会については、集まっていただくことが難しい状況であり、保護者の皆様と学級担任が、学級全体やお子様の様子について直接お話することができなかったことは大変残念に思っています。職員一同、早く通常の学級懇談会を実施できることを願っています。とはいえ学校の様子を保護者の皆様にお伝えしていくということは、とても大切なことだと考えています。可能な限り、学校の様子をお伝えしていくことに努めていきます。また、学校は御家庭から不安や心配なことがあれば御連絡いただけることで、子ども達の指導上配慮ができ、大変助かっている事もあります。これからも御心配なことがある際は連絡をいただくと共に、何かお子さんの学校の様子で知りたいことがある際も、御連絡いただければ幸いです。

また、本年度実施しました学校・学年行事は、感染防止に努めながらできる方法を模索し、職員で工夫して行っていくようにしておりますが、行き届かないところもあったかと思えます。いただいた御意見や御感想を次年度行事の実施に向け、参考にさせていただきます。

●学校の環境整備について

- ・学校のトイレが汚いと話を聞きます。

→ 学校のトイレに関しては、ここ数年御意見をいただいているところです。昨年度、トイレの外壁に防鳥ネットを設置したりして改善を図ってきました。日常のトイレ掃除指導にも担任外の職員が付き、子ども達と一緒に掃除をしています。今後も定期的に職員でトイレの状況を確認し、安心して子ども達がトイレに行くことができるよう努めます。また、次年度も、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかったPTA活動「春のピカピカ大作戦」「夏のピカピカ大作戦」にトイレの一斉清掃を予定し、保護者の協力をいただき、清掃できるようにしたいと考えます。その際は、御協力をよろしくお願いいたします。

◆ 今後の教育活動の方針と方策

1 本年度の重点目標

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

○基礎的・基本的な学習内容や体力を身につけた子ども

○自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども

○学習の構えや習慣を身につけた子ども

2 「ぐんぐん育つ」：子どもの育成に向けて

(1) 授業づくり（シン東風スタイルの学習）の日常化を図ります。

- 学び方・学ぶ姿勢について、めざす姿を子どもと教師で共通理解を図り、学年で重点内容を決め取組を進めていきます。
- シン東風スタイルの学習について日常化を図ります。
 - ・個別最適化学習：個に応じた学習の充実を図ります。
 - ・コース別学習：課題を選択し、問題解決的に追究していく学習の充実を図ります。
 - ・協働的な学習：他者との協働や交流を重視し、問題解決する学習の充実を図ります。
 - ・ICTの効果的な活用を図ります。

(2) 「書くこと」を大切に授業を行い、考えを伝え合うことで主体的で対話的な深い学びの実現を目指します。

- 標準学力テストの分析と考察を全職員で実施し、子供に付けるべき力を明らかにして、学力向上に努めます。
- 子どもが書いたノートを丁寧に見取り、評価します。
- 「書くこと」によって考えをつくったり深めたりし、交流することを通して、協働的に学び合う意欲を高めます。

3 「ここにこ育つ」：子どもの育成に向けて

(1) 新型コロナウイルス感染症防止のための行動様式を身につけ、自ら判断し行動できる子どもを育てます。

- 子ども一人一人が基本的な感染対策ができるよう指導します。
- 子どもが身の回りの状況に応じた行動ができるよう指導します。

(2) 規範意識と思いやり、心、生命尊重等を身につけた子どもを育てます。

- すべての教育活動において自分も他者も大切にする人権教育の充実を図ります。
- 「いつでも、どこでも、だれとでも」挨拶を気持ちよくできるよう指導します。
- 栽培活動や飼育活動の体験を通して、心の教育を行います。

(3) いじめを許さない学級・学校づくりに努めます。

- 職員間で学級の状況や子どもの状況を把握し、よりよくするための意見交流を活発に行いながら、より多くの職員で子どもたちを見守り対応していきます。
- 気になることがあればすぐに保護者の皆様に連絡し学校と家庭で連携して解決していきます。

(4) 自分のがんばりやよさを実感できる子どもを育てます。

- がんばりや伸び、取組の様子を価値付けし、達成感や満足感を感じられるよう指導します。

4 「すくすく育つ」：子どもの育成に向けて

(1) 最後まであきらめずにやり抜く態度を育てます。

- 子どもたちの取組の過程を見守り、励まし、認め、褒めて伸ばしていきます。

(2) 家庭・地域との連携により、子どもの生命や健康を守ります。

- 家庭・地域との連携のもとに、安全、防災、健康に関する教育を計画的に実施します。
- 事件や事故に遭うことがないように、日常の安全指導を行います。

(3) 落ち着きと安心感のある環境を整えるように努めます。

- 置き場所を決めるなどして、自分の持ち物の管理や整理整頓ができるように指導します。
- 物が整理され、清潔感のある教室環境を整えるよう努めます。
- 定期的に安全点検を行い、早期発見・早期改善に努め、安全な環境づくりに努めます。

お忙しい中、アンケートへの御協力を誠にありがとうございました。いただいた御意見を今後の学校経営の参考にさせていただきます。